

Kasamatsu Shirō - the Last Shin-hanga Prints Artist

没後30年記念

笠松 紫浪

—最後の新版画



2021年

2月2日(火) ↓ 3月28日(日)

前期：2月2日(火) ↓ 25日(木)

後期：3月2日(火) ↓ 28日(日) ※前後期で全点展示替え

開館時間：10時30分 ↓ 17時30分 (入館17時まで)

休館日：月曜日、2月26日(金) ↓ 3月1日(月) ※展示替えのため

入館料：一般：1000円 / 大高生：700円 / 中学生以下無料

※会期中2回目以降ご鑑賞の方は半券のご提示にて200円割引

(他の割引との併用不可)

「春の夜一銀座」
渡邊木版美術画舗蔵
(前期) [部分]

太田記念美術館
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

「うろこ雲」渡邊木版美術画舗蔵(後期)

知られざる新版画・笠松紫浪の画業に迫る



1



2



3



4

Kasamatsu Shiro - the Last Shin-hanga Prints Artist
没後30年記念

笠松紫浪

最後の新版画

「新版画」とは、大正から昭和にかけて、絵師、彫師、摺師の協同作業によって制作された木版画のことです。版元である渡邊庄三郎が提唱し、伊東深水や川瀬巴水、吉田博、小原古邨といった絵師たちによって、新しい時代に見合った版画芸術が次々と生み出されました。

笠松紫浪（一八九八〜一九九一）は、鑄木清方の門人として日本画を学び、大正八年（一九一九）、渡邊庄三郎から依頼されて新版画を刊行しました。その後、十年以上の空白を経て、昭和七〜十六年（一九三二〜四一）には、東京のモダンな都市の風景や、温泉地の風情を描いた風景画を刊行。戦後は渡邊庄三郎から離れ、昭和二十七〜三十四年（一九五二〜五九）、芸艸堂から版画作品を刊行します。新版画の初期から関わり、戦後も、絵師、彫師、摺師の協同作業による版画を発表し続けたという意味で、紫浪は「最後の新版画家」とあると言えるでしょう。

新版画は、近年、注目が集まり、特に川瀬巴水や吉田博については、大規模な展覧会が開催されています。一方、紫浪は、巴水の風景画と作風が類似しているためか、その陰に隠れてしまい、掘り下げて紹介されることはほとんどありませんでした。

紫浪は、令和三年（二〇二二）に没後三十年を迎えます。本展は、それを記念して、紫浪の新版画の全貌を紹介いたします。大正から昭和にかけて制作された版画作品約一三〇点（前後期で全点展示替え）の展示となります。最後の新版画家・笠松紫浪が捉えた、モダンでどこか懐かしい風景を、どうぞご堪能ください。



5



6



7



8

- 1 「霞むタバー不忍池畔」 渡邊木版美術画舗蔵（後期）
- 2 「浅草観音堂大提灯」 渡邊木版美術画舗蔵（前期）
- 3 「春の夜一銀座」 渡邊木版美術画舗蔵（前期）
- 4 「下田の街」 渡邊木版美術画舗蔵（後期）
- 5 「箱根湯本の春宵」 芸艸堂蔵（前期）
- 6 「東京八景の内 上野東照宮」 芸艸堂蔵（後期）
- 7 「越後柏崎」 芸艸堂蔵（後期）
- 8 「東京タワー」 芸艸堂蔵（前期）

【アクセス】 JR山手線 原宿駅（表参道口）より徒歩5分
東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅（5番出口）より徒歩3分

【問合せ】 050-5541-8600（ハローダイヤル）

【公式サイト】 <http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

【公式twitter】 @ukiyoeota

太田記念美術館

ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-10-10

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、予告なく予定を変更することがございます。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。ご来館の前に、当館ウェブサイトやハローダイヤルにて最新情報をご確認ください。

